

環境経営レポート



地元の発展に貢献する

株式会社大浜組

2023 年度 第 55 期

(活動期間: 2023 年7月1日～ 2023 年9月30日)



発行日: 2023年11月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

良質な生活空間の構築を目的として、街づくりの土台となるのが土木事業。高い技術力で信頼を築き、市民の皆様に安全で快適に生活できる環境づくりをご提供できるよう努めて参ります。

総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事です。産業の発展、文化の向上、振興に貢献、豊かで快適な環境の創造に役立てていきたいと考えています。

環境経営方針

当社は、創業した当時から地元の人々に喜ばれる企業に成ろうと考え、「地元の発展に貢献する大浜組」をスローガンに掲げ、社員と一丸になって日々努力しています。本業である土木工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、従業員一丸となって、健康的で働きやすい職場環境づくりに努め、継続的に環境改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 脱炭素化社会に向けて電力や燃料の二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 工事の効率化を図り無駄なく、環境に配慮した工事に努めます。
6. 環境に配慮し、幅広いニーズに応える技術者集団を目指します。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2023年7月1日

代表取締役社長 大濱 博幸

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 大浜組
代表取締役 大濱 博幸
- (2) 所在地
本 社 大阪府東大阪市布市町4丁目3-20
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 大濱 博幸 TEL:072-984-8585
担当者 藤本 裕美 TEL:072-984-8585
- (4) 事業内容
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、解体工事業、運送業、産業廃棄物収集運搬業
- (5) 設立年月日・資本金
昭和 45年 12月 19日
8,000万円

- (6) 事業の規模

売上高	789,097 千円	
	本 社	合 計
従業員 名	28 名	28 名
延べ床面積 m ²	471.88 m ²	471.88 m ²

受託した産業廃棄物の処理量 2023年度(55期)実績

収集運搬量(運搬)	3,399 t		
合 計	3,399 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

収集運搬車種	台数
バッカー車	5 台
4tダンプ	1 台
10tダンプ	7 台
3tダンプ	3 台
2tダンプ	1 台
合 計	17 台

- (7) 事業年度 7 月 1 日 ~ 6 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 大浜組
対象事業所: 本 社

対象外事業所: 4年以内に拡大予定

- 大東営業所 大阪府大東市中垣内1丁目11番30号
- 木工所 大阪府東大阪市布市町3丁目11-1
- 第1倉庫 大阪府東大阪市布市町4丁目341
- 第2倉庫 大阪府東大阪市布市町4丁目343
- 第3倉庫 奈良県奈良市三碓町山田2396番3号
- 第1センター 大阪府東大阪市元町2丁目46-2
- 第2センター 大阪府東大阪市布市町3丁目75-1、76-1

活動: 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、解体工事業、運送業、産業廃棄物収集運搬業

事業紹介



橋工事、上下水道工事(シールド工法等)、道路舗装、道路災害緊急対応、基礎工事、文化財発掘調査、ブロック塀工事、



一般住宅建築、店舗建築・改修、学校体育館建築・改修、倉庫建設、工場建築・基礎工事、ガソリンスタンド建設工事、屋根防水・



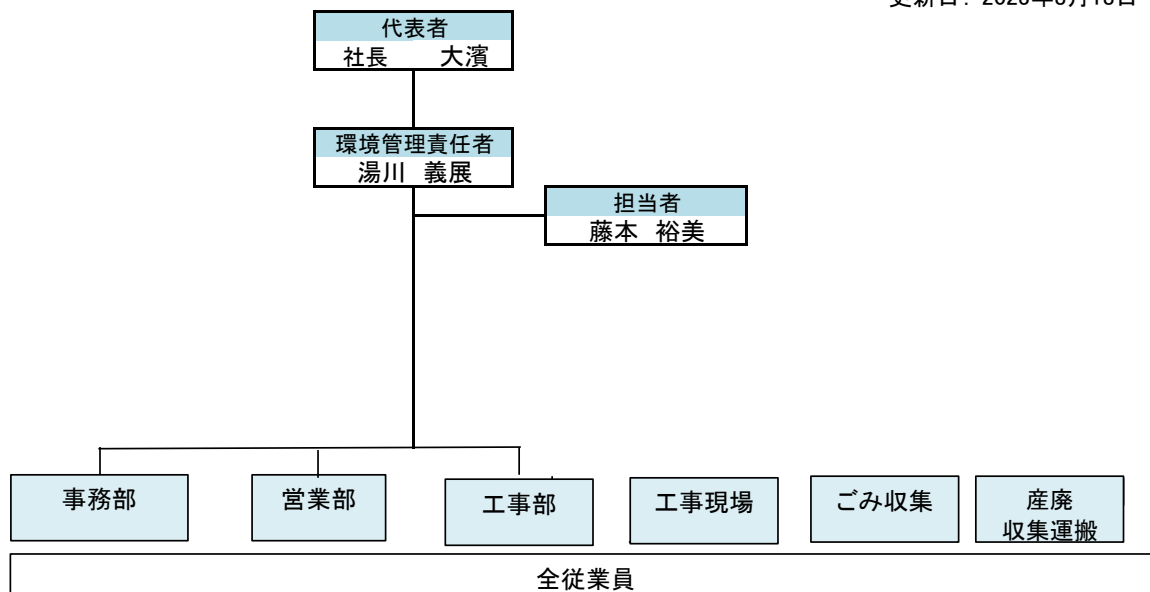
店舗解体工事、基礎撤去工事、ボックスカルバート撤去工事、貯水槽解体工事、大型倉庫解体工事、立体駐車場解体工事、煙



※一般廃棄物収集運搬業、業務請負業者が組織する「事業協同組合」に加盟する組合員として一般廃棄物収集

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年8月18日



代表者	・必要な経営資源を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営レポートの承認 ・全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者	・環境に関する実行責任者 ・環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営目的達成に向けた取り組み実施 ・環境関連法規等遵守の取り組み ・緊急事態対応試行訓練の実施、記録 ・環境経営レポートの確認 ・問題点の訂正、予防
担当者	・各種帳票の作成・データ取りまとめ ・環境経営目標、計画書案の作成 ・環境関連法規等とりまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
事務部・営業部 工事部・工事現場 ごみ収集・産廃収集運	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

建設業許可 内容

許可番号 大阪府知事 許可(特-3) 第4816号
 許可の有効期限 令和3年9月23日 から 令和8年9月22日
 建設業の種類 土木工事業 建築工事業 大工工事業 左官工事業
 とび・土工工事業 石工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業
 鋼構造物工事業 鉄筋工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業
 板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業
 内装仕上工事業 熱絶縁工事業 建具工事業 水道施設工事業 解体工事業

許可番号 大阪府知事 許可(般-3) 第4816号
 許可の有効期限 令和3年9月23日 から 令和8年9月22日
 建設業の種類 管工事業

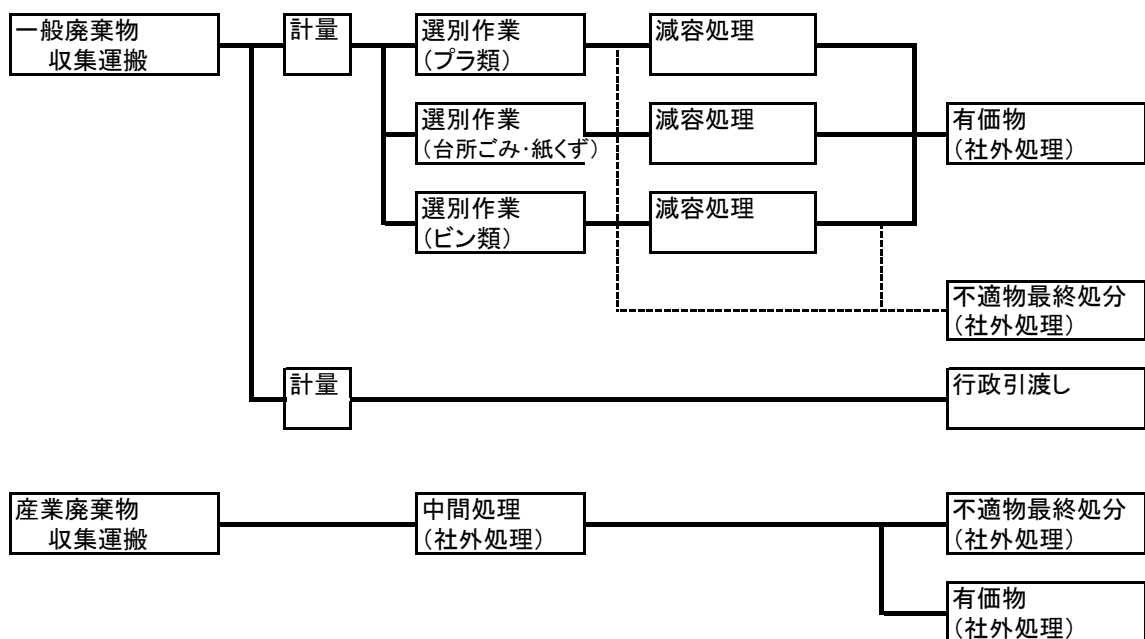
一般廃棄物収集運搬の業務請負の内容

東大阪市廃棄物事業協同組合 組合員として東大阪市家庭系一般廃棄物収集運搬について業務委託を請負

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類															
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	ばいじん	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい	
大阪府	2700017431	令和1年5月13日	令和6年5月12日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○
兵庫県	2803017431	令和1年7月8日	令和6年7月7日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		
京都府	2600017431	令和1年5月22日	令和6年5月21日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		

□廃棄物処理フロー



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	347,283	145,871
Scope1(化石燃料)	kg-CO ₂	339,912	140,923
Scope2(電力)	kg-CO ₂	7,371	4,949
受託収集運搬量(自社)	トン	3,399	3,399
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	キロ	144	113
産業廃棄物排出量	トン	1,102	0
水使用量	m ³	201	86
※二酸化炭素排出係数		0.311	kg-CO ₂ /kWh
※2023年度のデータは期初から期の途中まで		関西電力	

※【関西電力】A0272 係数0.311 R3年度実績R5.1.24 環境省・経済産業省公表、R5.7.18一部追加・更新を使用
 ※負荷の実績は工事現場を含む

環境経営目標及びその実績

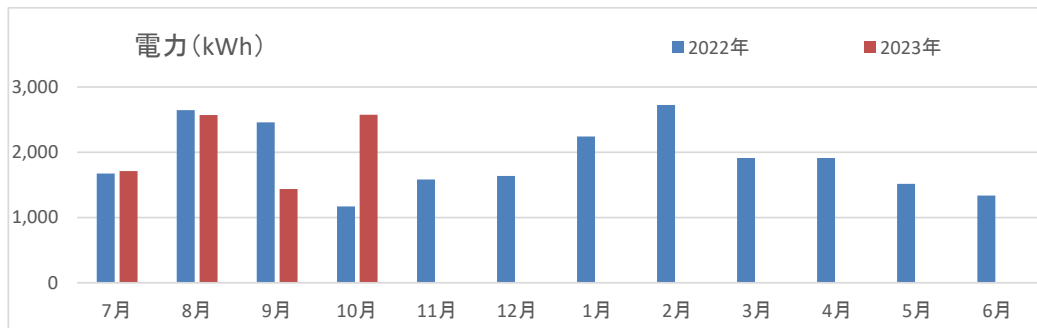
年 度 項 目		2022年度		2023年度		評 価	2024年度		2025年度	
				上段:通期 中段:2023/7～2023/9						
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)			
電力による二酸化炭素削減	kWh	23,702	23,465				23,228	22,991		
	活動期間	6,777	6,709	5,720	○					
	基準年度比		99%	84%			98%	97%		
	kg-CO2	7,371	7,298				7,224	7,150		
	活動期間	2,108	2,087	1,779	○					
	基準年度比		99%	84%			98%	97%		
原単位		kg-CO2/千円	0.009	0.009	0.059	×	0.009	0.009		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	339,836	333,039				329,641	326,243		
	活動期間	81,737	80,102	86,972	×					
	基準年度比		98%	106%			97%	96%		
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	347,207	340,337	89,551	／	336,865	333,393		
一般廃棄物の削減	kg	144	143				143	130		
	活動期間	36	36	36	×					
	基準年度比		99%	100%			99%	90%		
産業廃棄物の削減	t	1,102	1,047				881	771		
	活動期間	248	236	140	○					
	基準年度比		95%	38%			80%	70%		
水道水の削減	m ³	201	199				191	187		
	活動期間	49	48	39	○					
	基準年度比	2022年	99%	79%			95%	93%		
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)								

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

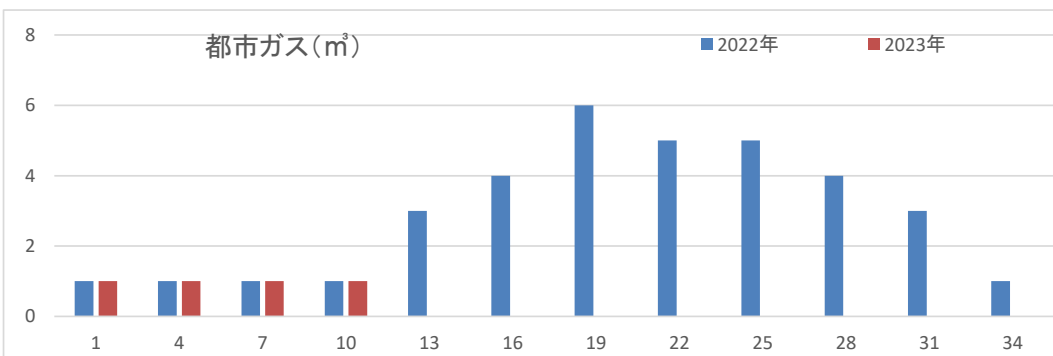
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	例年に比べ暑さが長く続き、エアコンの使用期間が長くなる、空調温度が低く設定されていた等、改善すべき点があった。目標達成の為、フィルターの掃除やブラインドによる日光の遮断で空調温度の適正化に努めたい。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・使用していない部屋の空調を停止している	○	



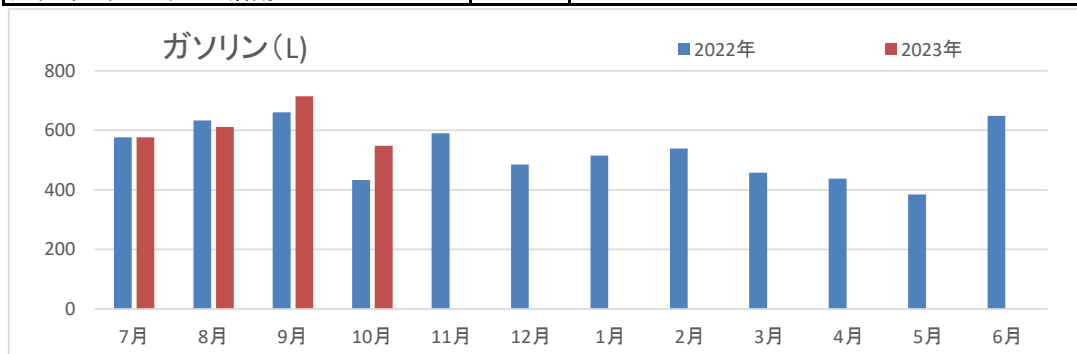
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	1,673	2,646	2,458	1,169	1,584	1,639	2,240	2,725	1,911	1,911	1,518	1,336
2023年	1,713	2,570	1,437	2,573								

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬場の給湯器の使用が多いので、まとめて洗う・少ない量で済むよう工夫をしていきたい。
食器はまとめて洗う	○	
給湯器使用頻度の削減	○	
水温の最適化	○	

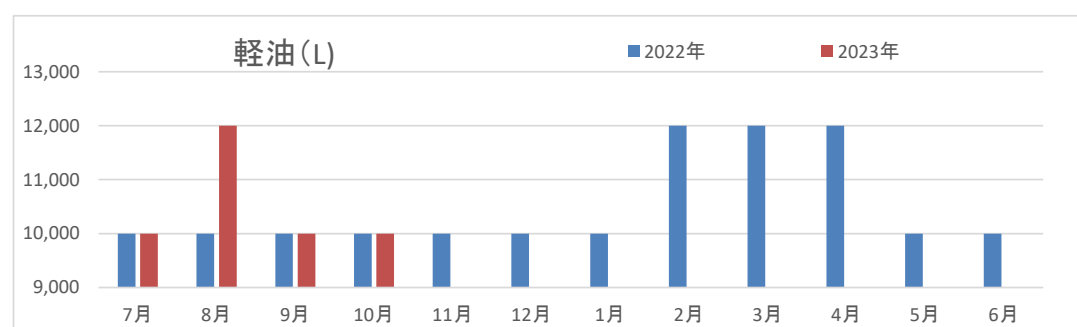


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	1	1	1	1	3	4	6	5	5	4	3	1
2023年	1	1	1	1								

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	×	アイドリングストップの活用等従業員への周知が不十分な部分があった。目標達成のため、従業員への協力を仰ぐ
帰り荷や複数現場への共積み、乗り合い	○	
作業時間や待機時間、走行距離の短縮化	○	
アイドリングストップの活用	△	

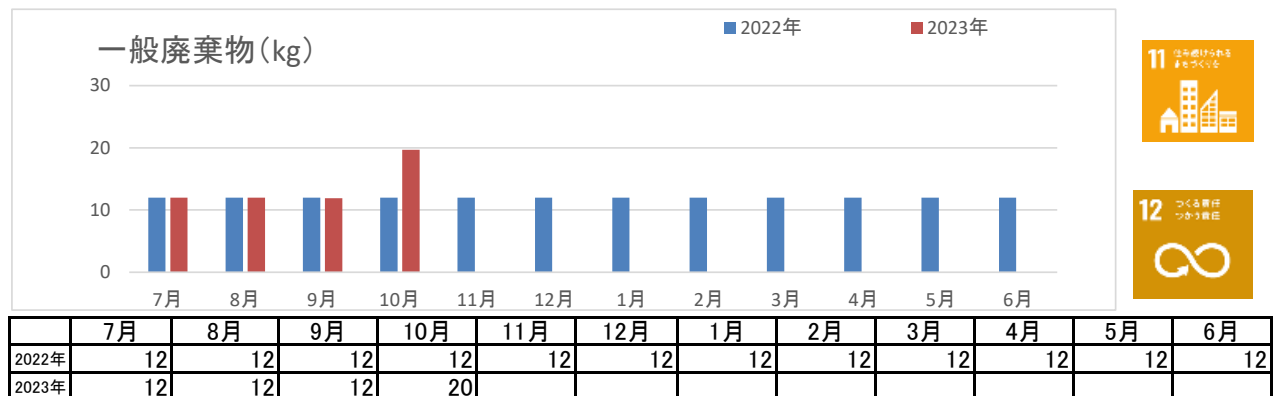


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	576	633	660	433	590	485	516	539	458	438	384	648
2023年	576	611	714	548								

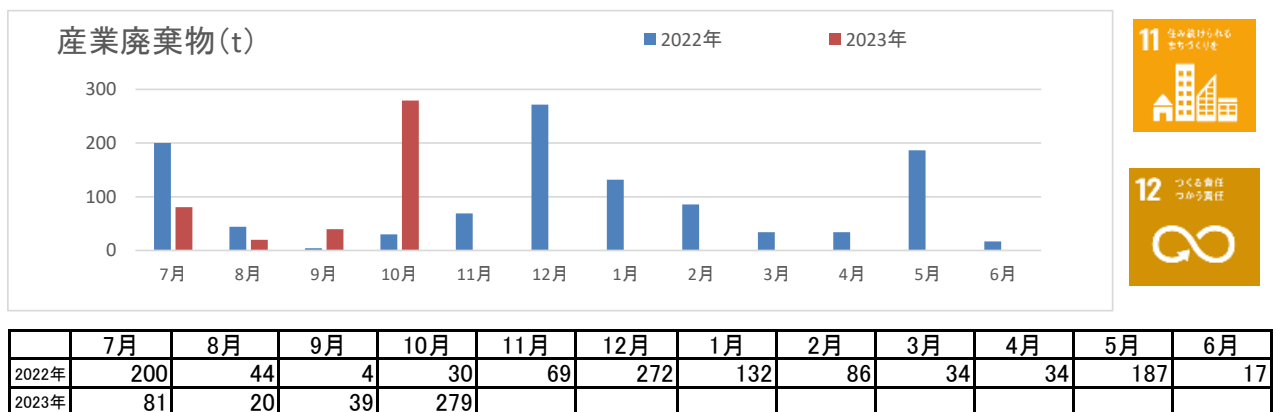


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	12,000	12,000	12,000	10,000	10,000
2023年	10,000	12,000	10,000	10,000								

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	ペーパーレス化ができていない。FAXをメールに、紙ではなくデータでの配布を、古紙やダンボールはリサイクル施設へ持ち込むなどを心がける。
打合せや会議の資料にペーパーレス化	△	
ホワイトボードやプロジェクターの利用	○	
詰め替え製品の利用や備品の修理など長期	○	
コピー用紙の裏面活用	○	



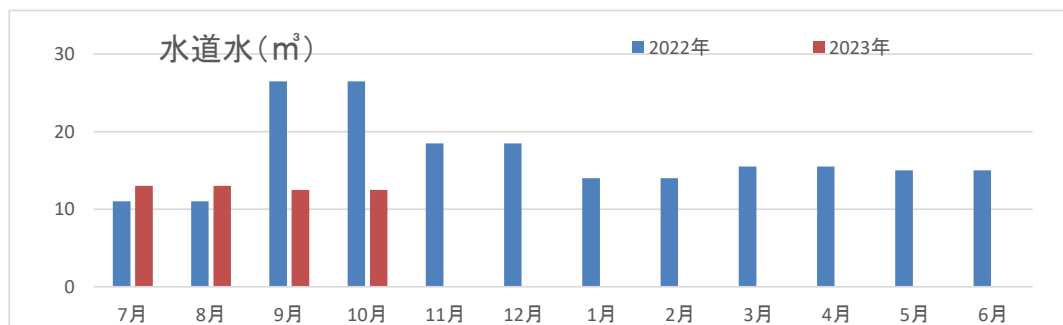
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	×	目標の達成ができていないので、このまま継続していききたい。
・再生材を製造している業者への持込み	○	
・ペーパータオルを廃止している	○	
・使い捨て用品の使用や抑制	△	



建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今後も継続していく
建設発生土の場内利用や、再利用を図る工	○	
マニフェストによる廃棄物分別の徹底	○	

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	再生材を製造している施設への搬入のため、目標を達成できた。
再生利用できる処理業者への持込み	○	
分別の徹底	△	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	蛇口をシャワーに切り替える等使用量を抑える工夫がされていた。目標達成のため、今後も継続していきたい。
建設機械などを洗車する前に泥などを落とす	○	
節水に努める	○	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	11	11	27	27	19	19	14	14	16	16	15	15
2023年	13	13	13	13								

健康的で働きやすい職場環境づくり	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
社員のコミュニケーションを活発にしよう	○	健康診断の実施もできているので、今後も継続していきたい。
5S活動の推進	○	
会社の周辺清掃での地域貢献	○	

環境への取り組み

仕事始め恒例 石切神社へ参拝と新年の



新機械導入！

『TOPCON LN-100 series LAYOUT NAVIGATOR』現場の座標をとったり、書類でもらった座



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	(産廃)収集運搬の許可証
	委託契約書の保管
	マニフェストが発行され、保管されていること(5年間)
騒音規制法	特定建設作業の届出
	区域・時間ごとの規制基準の順守
振動規制法	特定建設作業の届出
	区域・時間ごとの規制基準の順守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用
消防法	貯蔵・取扱い設備の許可申請
建設リサイクル法	工事着手7日前までに都道府県知事に対し分別解体等の計画等の届出
	解体・新築・改修工事の際の届出
水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出
フロン排出抑制法	解体時の事前確認
	適切な業者の選定
家電リサイクル法	廃棄時の適切な業者への引渡し
大気汚染防止法	解体等工事を行う際の特定建築材料使用有無に対する(有資格者による)事前調査
	石綿の使用有無調査結果を都道府県に報告

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取り組み期間中、外部からの環境上の苦情・要請等はありませんでした。

確認日：2023年9月30日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/9/15	■実施場所：本社 スタンド付近
■参加者： 全従業員	■実施内容： ・安全確認訓練、消火訓練
■評価： 安全への意識を再認識するため行った会議では全員が意識を高められた。 消火作業訓練では、緊急時対応の確認ができた。	手順書の変更の必要性
■実施状況の様子	

安全の確認訓練の様子



消火作業確認訓練の様子



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年10月1日

エコアクション21の開始で、環境活動に積極的に取り組めたと思います。目標達成となっている月もあります。ただ、未達成月も少なくなく増加している部分もあります。特に軽油やガソリンの未達成が目につきますが、運送業が増加したためであり、環境活動への取り組み不足が原因ではない。しかし、まだ従業員への取組の浸透が十分であるとは言えないので、まずは、取組に対する理解と浸透の強化を図っていきます。カーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえて、エコアクション21を活用し、これらの課題解決に向けて、会社全体を挙げて推進していきたい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり